



# 消防だより

有田川町消防本部 052-59950  
吉備金屋消防署 052-59950  
清水消防署 025-1243

## 今年の出動等(累計)

火災……………5件  
救助急…412件  
救助…4件  
(平成26年5月31日現在)

## 熱中症

熱中症とは、室温や気温が高い中で体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどい時には、けいれんや意識の異常など、様々な障害を起こす症状です。家の中でじっとしていても室温や湿度が高い時は、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

### Ⅰ度(熱痙攣・熱失神)

手足や腹筋などに痛みを伴った痙攣(こむらがり)や腹痛。失神(数秒間程度のもの)

### Ⅱ度(熱疲労)

めまい、疲労感、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢、虚脱感など。

### Ⅲ度(熱射病)

興奮や昏睡などの意識障害やけいれん。ショック症状など。  
(顔色が悪く、脈が速く弱い)  
体温38度以上(脇の下)

○こんな時は、ためらわずに救急車を呼びましょう

・自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合  
・意識がない(おかしい)、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方。



### 熱中症予防のポイント

- ・部屋の温度をこまめにチェック!
- ・室温を28度を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使いましょう
- ・のどが渇く前に水分補給!
- ・のどが渇かなくてもこまめに水分補給!
- ・外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も!
- ・無理をせず、適度に休憩を!
- ・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを!

## 水による事故に注意

梅雨が明け本格的な夏の暑さがやってくるこれからの季節は、海・河川・プールなどで、水による事故が発生する時期でもあります。水の事故を防ぐために、次のような点に注意して、楽しい夏を過ごしましょう。



### 水による事故を防ぐポイント

- ・小さい子供からは目を離さないようにし、遊泳中や水遊び中は大人が付き添いましょう。
- ・気象状況に注意を払い、天候の変化に応じ遊泳や川岸等でのキャンプを中止するといったことも配慮しましょう。
- ・飲酒後や体調が優れないときは、遊泳を行わないようにしましょう。

## 花火に気を付けて!

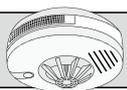
夏の楽しい遊びのひとつとして、おもちゃ花火が親しまれています。しかし、「おもちゃ」といつても原料は火薬であり、炎が噴き出したり、急激に燃焼することから、思わぬ事故に結びつくことがあります。

花火による事故をなくすため、次のことに注意しましょう。



### 花火をする時の注意事項

- ・風の強いときは、花火をやめましょう。
- ・花火の取扱説明をよく読んで、必ず守りましょう。
- ・燃えやすいものがない安全な場所を選びましょう。
- ・子供だけでなく、大人が付き添うようにしましょう。
- ・水の入ったバケツなどを用意しましょう。
- ・使い終わった花火や途中で消えた花火は用意した水につけ、完全に消しましょう。



あなたの命と財産を守るため 付いていますか? 住宅用火災警報器

「法律で全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています。」